



かねがさき



こんなに
大きく
なりました！



議長選挙に
マニフェスト

第十次総合発展計画を可決

カムバック
双子ちゃん
シリーズ⑧

普段着で...
こんにちは
●4年間の努力目標です●



伊藤 雅章
議長

マニフェストを
しっかり
実践します。



佐藤 千幸
副議長

子どもを見れば
まちが見える
子育て応援団です。



千田 力
総務教育民生常任委員長

公約実現のため
誠心誠意
努力いたします。



千葉 正男
産業建設常任委員長

初心を忘れず
本来の議員活動を目指す



及川 みどり
議会広報常任委員長

みんなの
笑顔のために動く。



議会だより
かねがさき
No.118

目次

- 2~3 16人の議員誕生
議長選挙にマニフェスト
- 4~5 重点プロジェクト事業
推進
- 6~7 施政方針、
教育行政方針
- 8~11 予算審査特別委員会
- 12~15 議案審議
- 16~21 一般質問
- 22~23 中学生議員 議場で
町長 教育長と対決
- 24 ぴかっとひかる人
シリーズ48
「ゲートボールは
人の和づくり、健康づくり」
古味利三さん(和光)

議長選挙に マニフェスト

今回、議長選挙に立候補した2人はマニフェストを発表し、それぞれの決意を表明しました。今後の議会の取り組み事項として、このマニフェストを取り入れ、議員活動に生かしていきたいと思ひます。

議会の運営改善をめざします

- 阿部 隆一 議員
- 議会で改善
- 1 一期目議員の町内研修を実施
 - 2 議案の賛否の公表
 - 3 住民懇談会・アンケート等で住民の意見を聞く
 - 4 町内団体代表との意見交換会を継続
 - 5 議会インターネット中継をすまやかに実施
 - 6 町民との話し合いで改善

議会の義務をしっかり果たします

- 伊藤 雅章 議員
- 積極的に学び行動する議会
- 1 タブレットパソコンの活用による政務活動調査
 - 2 町の産業振興のための企業訪問・農業視察
 - 3 議会ほっとミーティングの開催
 - 4 議員の友好都市訪問
- 町民により開かれた議会
- 1 インターネット利用による議会中継システムの構築
 - 2 「議会で語ってみっべ」の継続開催
 - 3 議会だよりの更なる進化
 - 4 議員の賛否状況を公表
- より果敢に政策提言する議会
- 1 町長への政策提言
 - 2 議会発の条例制定
 - 3 マニフェスト大賞への挑戦
 - 4 地元選出県議会議員との懇談会

4年間の議員活動がスタート

金ケ崎町議会は3月3日、改選後初の臨時議会を開き、議長に伊藤雅章議員、副議長に佐藤千幸議員を選出しました。

議長選には2人が立候補し、議員全員の無記名投票による選挙を行いました。結果は、伊藤雅章議員12票、阿部隆一議員3票でした。(無効1票)

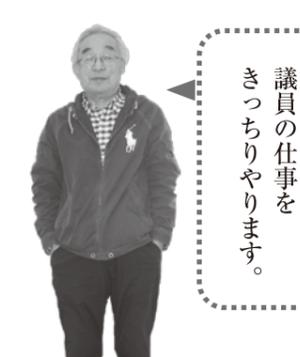
副議長選には2人が立候補し、同じく選挙の結果、佐藤千幸議員8票、千葉和美議員8票と同数となり、地方自治法および公職選挙法の規定により、くじ引きの結果、佐藤千幸議員が当選となりました。

議会はこれから4年間、住民の代表者、奉仕者として、それぞれが掲げた努力目標、議会の目標に向けて積極的に活動を展開してまいります。



山路 正悟
総務教育民生副常任委員長

町民福祉向上のため
一生懸命頑張ります。



千葉 正幸
総務教育民生常任委員

議員の仕事
きっちりやります。



阿部 隆一
総務教育民生常任委員

一般質問を継続し
町民の声を
町政に届ける。



千葉 和美
議会運営委員長

地域住民の声を聴き
町民と町政の
パイプ役に徹します。



梅田 敏雄
議会広報副常任委員長

ふるさと創生
これに尽きる



巴 正市
産業建設副常任委員長

初心を忘れず
地域の声を
町政へ届けていく



有住 修
産業建設常任委員

実行力で
まちを元気に



青木 俊悦
総務教育民生常任委員

安全で安心して
くらせる社会を
目指して



千葉 良作
産業建設常任委員

地域の声を議会へ
—元氣、本氣、根氣—



阿部 典子
総務教育民生常任委員

人と人との輪を大切に
行動できる議員を目指し
頑張りたい。



高橋 美輝夫
産業建設常任委員

夢と希望のもてる
「まち」づくりを!!

今年はこちらだ 限られた予算を有効に

金ヶ崎町トラガール育成補助金 240万円

製造業や物流業への女性進出を支援するため、女性トラック運転手を育成する企業に対して補助金を出します。



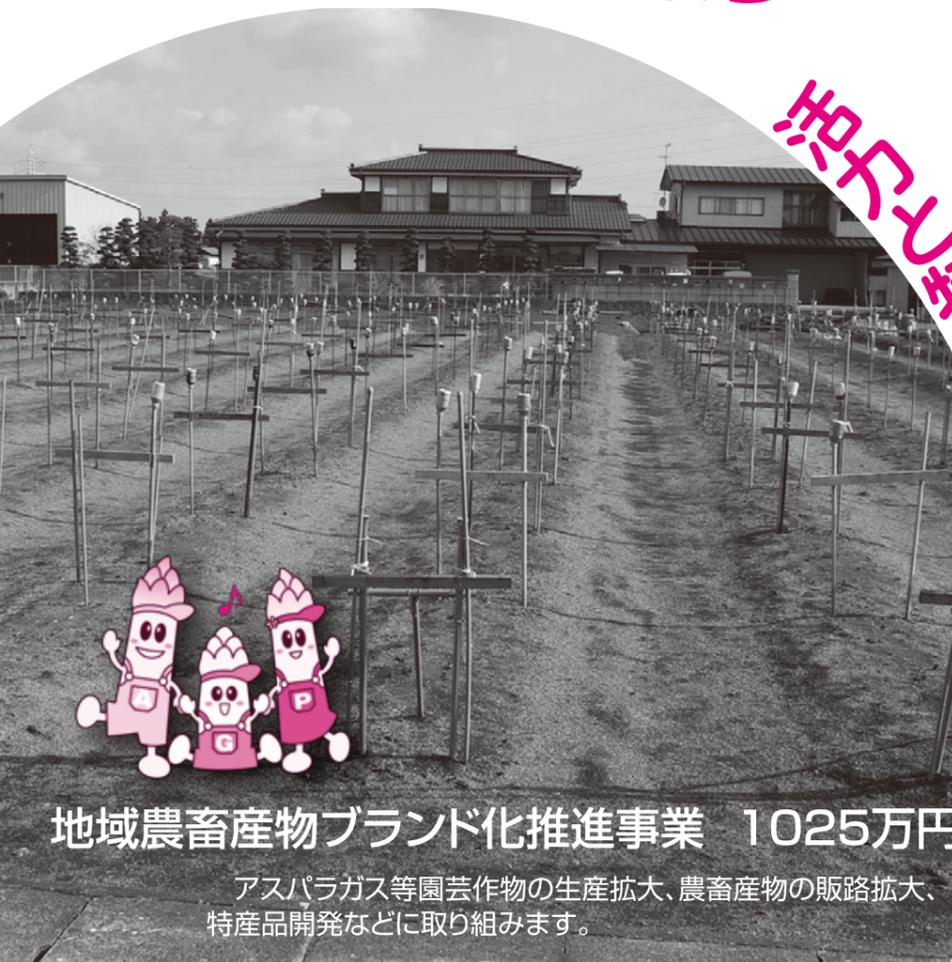
女性にとって魅力的なまちを創る



診療所の建設予算を可決

初年は3億2千万円 来年度開所へ

熱心な業種のある地域を創る



地域農畜産物ブランド化推進事業 1025万円

アスパラガス等園芸作物の生産拡大、農畜産物の販路拡大、特産品開発などに取り組みます。

重点プロジェクト事業を推進

子ども医療費給付費 2830万円

子育て支援の強化のため、現在中学生までとしている医療費助成を高校生まで拡大します。



若者が暮らしたいまちを創る



3月議会定例会は、3月10日から24日までの15日間の会期で開かれました。

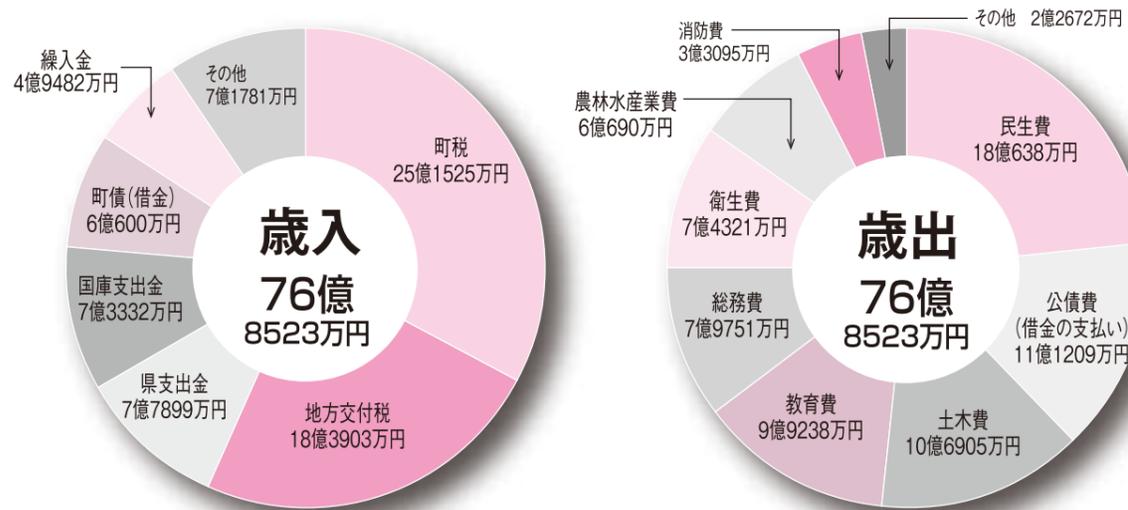
初日には高橋由一町長が施政方針、千葉祐悦教育委員長が教育行政方針を述べました。

一般質問には5議員が、子育て支援や第十次総合発展計画などについて活発な論戦を展開しました。

町提出案件は35件で、人事、条例制定、条例一部改正、補正予算、平成28年度一般・特別会計などを審議し、すべて原案のとおり可決しました。

平成28年度一般・特別会計予算など10会計については、予算審査特別委員会を設置し、集中審査しました。(関連記事8~11ページ)

グラフで見る28年度一般会計予算



いじめのない町に



永岡小学校6年
阿部 斗哉

ぼくが教育委員長になったら、学校や保育園、幼稚園が良くなるようにしたいです。

いじめなどの事件が全国でたくさん起こっているの、いじめのない金ケ崎町にしたいです。

また、ぼくはサッカーをしていて、小学校の校庭が芝生だったらいいなと思っているので、校庭を芝生にしたいです。芝生だと低学年の子どもたちが転がって遊んだりできるので安全でいいと思います。

もし 教育委員長 だったら

子どもの夢が広がる
データベースを



第一小学校6年
石母田 鼓実

私達子どもには、サッカー選手やパティシエになりたいなど、色々な夢があります。

でも、その職業について知っている事はごく一部です。毎日どのような仕事をしているのか、どのような勉強が役に立つのかなど、知りたい事がたくさんあります。

だから、私が教育委員長だったら、金ケ崎町の小学校に色々な職業の情報を集めたデータベースを作って配りたいです。

子どもの夢への道が広がるような働きをします。



コートに入れば年を忘れて全力プレー

教育行政方針
千葉祐悦教育委員長は教育行政方針の演述で、今年度は「まちづくりは人づくり」を柱に計画された第十次総合発展計画及び教育振興基本計画の実施の初年度となり、「豊かな心を育てるまち」をめざし施策を展開すると述べました。

未来を担う次世代を育成する学校教育
5つの目標として、幼児教育の充実・義務教育の充実・英語教育の充実・特別支援教育の充実・ふるさと教育の実施を推進します。特にふるさと教育では、児童生徒が、郷土

生涯を通じて学びあう人づくり
生涯教育環境の充実・読書活動の推進と資料の活用を目標にします。町民の自主学習を支援するため、学習情報の提供や支援体制の充実を図っていきます。



教育行政方針を述べる
千葉 祐悦 教育委員長

たくましい金ケ崎の 子どもたちを育成

自立のまち維持へ 改革と挑戦



施政方針を述べる
高橋 由一 町長

施政方針
高橋由一町長が施政方針演述を行い、「生活環境・快適に暮らし続けられるまち」「健康福祉・健やかで安らぎのあるまち」「産業・産業の振興で活力あるまち」「教育文化・豊かな心を育てるまち」の4つを基本目標に掲げ、住みたい町、住んで良かった町の実現に向けて、連携と協働のもと、まちづくりを進める決意を述べました。

若者が暮らしたいまちを創る
若者が働く場を確保するため、土地利用可能性調査の実施、従業員の大型免許取得に對して企業に補助します。婚活支援として県外から婚活事業に参加する女性に対して交通費の支援を行います。子育て世代の経済的支援を強化するため、医療費助成の対象を高校生まで拡大します。

女性が暮らしたいまちを創る
様々な産業への進出を支援するため、女性トラック運転手を育成する企業に対する補助、特定不妊治療に対する助成額の増額、さらに、女性が働きやすい環境を整備する



若者の活気ある交流で町に元気を(婚活パーティー)

英語教育を もっとさかんに



三ヶ尻小学校6年
平沼 颯泰

ぼくは、英語に関心があり、英検にもチャレンジしています。

ぼくが、町長になったら、案内板の表示に英語を入れるなどして、もっと外国人に来てもらいやすい町にしたいです。

また、ILCの建設が進むと、世界から注目され、多くの外国人がやってきます。

そこで英語教育に今以上に力を入れ、国際的に活躍できる人を増やし、外国人との交流をもっとさかんにしたいです。

もし 町長 だったら

みんなが森林と
ふれ合うことが
できる町



西小学校6年
菊地 重杜

ぼくは、金ケ崎町を、だれもが森林とふれ合うことのできる町にしたいです。

金ケ崎町を訪れた人に、町の特産物を使った料理などを食べてもらいます。

森林では、川遊びや様々なアトラクションを使った遊び、森林について理解するコーナーなど、たくさん楽しんでもらいます。

夜は、星座が見える展望台で、金ケ崎町の美しさを十分に味わってもらいます。

金ケ崎町の良さを十分に感じてもらいながら、利益も得ることができたらいいなと思います。

祝 旭日章 1月13日、金ケ崎町議会元議員等で構成する議会OB会。名簿のトップに君臨するのが、昭和35年に議員就任した西部地区の畠山勉氏。この度、88歳を迎え高齢者叙勲、自治功労にて単光旭日章を受賞されました。30代の若さでの町議選出馬。その度胸と勇氣には頭が下がります。議員OBは現在39人、内女性は2人。これからも良きアドバイスよろしくお願ひいたします。

波乱の大会 1月11日、金ケ崎町郷土カルタ選手権大会が開かれました。昨年3部門完全制覇した三ヶ尻チームが敗れました。低学年は西部、中学年は北部、高学年は永岡が優勝。読み手は2名の女子高生で新鮮な風が吹きわたっていました。来年の大会が楽しみです。

議論白熱の3日間



千田 力 委員長



山路正悟 副委員長



千葉 良作 委員

園児バス利用料

Q 町立幼稚園に通園バスを利用して通う子どもたちから利用料を徴収するということは、女性の活躍の場を広げるという方針と

は相容れないものがある。しかも、その総額は40万円程度である。幼稚園バス利用に特化して受益者負担させることには賛成できない。

の利用を見込んで約40万円を計上した。全ての幼稚園児に負担していただくものではない。



今日も楽しく遊びました 帰りのバス



阿部 典子 委員

金ヶ崎城跡環境整備

Q 伝統的建造物群保存事業費のうち、各指定管理委託料はいくらか。金ヶ崎城跡環境整備の内容は。

A 白糸まちなみ交流館262万円、旧坂本家待住宅256万4000円、片平丁・旧大沼家待住宅217万3000円、土合丁・旧大沼家待住宅205万円である。



山路 正悟 委員

野田・前野線新設改良

Q 野田・前野線の起点と終点はどこか。

この路線には城堰川があるが、ここに橋を架けるのは高額になるのではないかと。この川を渡る手段あるいは構造はどのようなものか。

A 起点は県道胆沢・金ヶ崎線の交差点から、終点は町道南花沢・前野線の予防医学協会交差点までとなる。

岩手の元気を発信しよう

1月15日、金ヶ崎町商工会等の主催による新春講演会が開催された。講師は一般財団法人 岩手経済研究所の地域経済調査部長 中野智氏。演題は「国内・県内経済 明日への期待～地方創生新時代の本県経済を考える～」。



議会トピックス

議会トピックス



梅田 敏雄 委員

トラガール育成

Q 大型免許取得支援というのは、誘致企業である流通業・運送業だけが対象になるのか。

また、トラガール育成補助は、企業内で女性ドライバーを育成しようとするものか。トラガールを育成し

ようとする企業であれば、どこでも対象になるのか。

A 当面は物流業を対象にしたい。背景としては企業誘致活動のフォローアップ。すでに立地している企業が非常に苦慮している。国においても物流業界の人手不足解消に努めるという指針を出している。町としても、県のトラック協会と同額の補助をすることで、物流業のドライバー不足の解消に寄与したいと考えて



巴 正市 委員

死亡牛処理円滑化推進事業

Q 死亡牛処理円滑化推進事業補助金253万4000円については、東北油化が閉鎖したことによる掛かり増し経費の補助ということは承知している。この経費は農協と連携したものとと思うが、どのような方法で出したのか。

A 県の畜産協会へ町が負担金として支払うものが補助し飼育者が残り分について負担する。



クマの食害を受けるデントコーン畑(和光地区)



有住 修 委員

猟友会維持へ補助

Q 猟友会の平均年齢は。会員は増えているのか。猟友会の年間出勤回数と全時的な農産物被害額は。いくらか。また、委託料はいくらか。

猟友会を維持していくため、資格を取る意欲のある若い人へ全額補助してはどうか。

A 平均年齢は65歳から68歳くらいではないか。



佐藤 千幸 委員

給食の地産地消拡大

Q 地産地消拡大事業について、子ども達に町内や県内農産物を認識あるいは体験させることは重要である。28年度の事業内容は。事業を進めるにあたって他団体との連携はあるのか。農林関係予算のような他予算との抱き合わせはあるのか。

A 給食センターでは、給食の調理、配送について



町内産100%の日 生産者もいっしょに いただきます (三ヶ尻小学校)

火のない所に

1月30日、消防団第3分団第6部(和光地区)の消防屯所落成祝賀会が和光生活改善センターで行われました。県内有数の酪農地帯である和光地区。地域の防災拠点が新たに整備されました。祝賀会場の大広間は、築後以来「禁煙」とか。10数年経過しても真新しさをキープ。これも消防団の発案なのではないか。「煙はキレイ!」「これぞ和光!」



議会トピックス

議会トピックス

討論

反対 通園バス利用料は廃止に

阿部 隆一 議員

第十次総合発展計画の初年度にあたる平成28年度一般会計予算は、項目ごとの採決なら大部分が賛成できる内容である。しかし、次の2つの内容を含んでの一括採決なので反対する。第1は、正規職員増員の予算になっていないことである。子育て支援課を設置したことは評価する。しかし、正規職員を増員しない中で設置である、職員の任務が過大になり、全体として住民サービスが低下することを懸念する。第2は、幼稚園の通園バス利用料として月500円徴収を計上していることである。町は昨年10月末まで子育て支援事業として、園児バス無料運行を掲げていた。また、西幼稚園と金ヶ崎幼稚園を南方幼稚園に統合するとき、当時の町当局や教育委員会、関係地域住民が無料運行を前提に了解したことに反する。

賛成 選択と集中

佐藤 千幸 議員

議案第25号「平成28年度金ヶ崎町一般会計予算」について賛成する。平成28年度は第十次総合発展計画の初年度として、人口減少社会を見据えた取り組みが始まる。一方、町税は横ばいではあるものの、企業の業績により税収が変動するという、不安定な構造を抱えている。このような中、本予算案は人口減少対策を具体化するために、選択と集中により必要な措置が講じられていると評価する。また、財政的に将来負担を確実に減少させることも配慮し、財政健全化を進めるための対応がとられた内容となっている。このようなことから、平成28年度金ヶ崎町一般会計予算案に賛成する。

反対 設置条例に違反

千葉 正幸 議員

平成28年度金ヶ崎町一般会計予算について、反対する。10款教育費・ふるさと伝承館解体工事費があるが、これは正しく「ふるさと伝承館設置条例 昭和53年3月13日条例第3号」に違反する「取壊ある行政行為」である。三和土（たたき）をコンクリートにし、暮らしの道具はどこに行っただか。特定のNPO法人に無料で貸すなどは便宜供与といわざるを得ない。直ちに本来の目的に沿った公開と活用に戻られることを強く願って反対討論とする。

Q 永岡小学校体育館床張替工事の他に同校のグラウンド改修工事が計上されているが、これはどういう工事を行うのか。
A 永岡小学校のグラウンドは、多少の雨でもぬかるんでしまう状況にあり、それを改善しようという工事である。状態のひどい部分から行う。

グラウンド排水工事
及川みどり 委員

Q 移住定住促進事業の具体的な内容は。
A 地方創生関連で、特に移住定住促進については考えている。東京都でふるさと回帰フェアをしているので、移住の意向がある人に出展ブースへ集まってもらい、そこで金ヶ崎をPRする。町の魅力を発信するなかで、移住者を呼び込みたいと考えている。

移住定住促進
阿部 隆一 委員

Q 農地集積協力金の内容は。
A 農地を集積することを目的に進めている。農地中間管理機構を通して、農地の出し手が5反歩まで30万円、2町歩までが50万円、それ以上が70万円という協力を金を受けるといったものだ。

農地の出し手に対する支援
千葉 和美 委員



信号の設置が望まれる県道交差点

Q 荒巻・東町線の工事が完了はいつ頃になるか。
A 県道との交差点は変形交差点であり、四方とも見通しが悪いので信号機を設置を望む。歩道に自転車専用レーンを設けると聞いているが確認したい。完了は今年の9月から10月頃になると思う。

荒巻・東町線へ信号機
高橋美輝夫 委員

信号機については公安委員会に確認しているが、完成後の交通量が多い場合は設置も考えなければならぬとのことなので、引き続き要望していく。歩道は、自転車・歩行者道として使用できるように3・5mで施工している。自転車専用レーンとしての計画は当初からない。



解体される厠(かわや)・厩(うまや)



ふるさと伝承館

ふるさと伝承館

解体工事に異議あり

千葉 正幸 委員

ふるさと伝承館
Q ふるさと伝承館は町長が管理する施設か、教育財産として教育委員会が管理する施設か。
A この建物は町民から寄付され、母屋は町内の在来工法の腕を持つ大工さん達が

奉仕で造ったものだ。北側の建物は農協が厠(かわや)・厩(うまや)という意味あいで作ったものだ。本来のふるさと伝承館の使命を果たさないで、なぜ条例違反を取り壊さなければならぬのか。直ちに条例違反をしないように改めてほしい。
A この工事はふるさと伝承館北側にある厠と厩の解体であり、伝承館は教

育委員会の文化財なので教育委員会の所管となる。
Q 三和土(たたき)がコンクリートの状態になっているのは、文化財等を保存するという本来の目的と違うのではないか。伝承館自体の目的は文化的向上に資するということだが、現在NPO法人に貸している状況は、条例違反ではないか。

A 将来、活用目的が変わっても対応できるように、三和土をコンクリートに改装するなどした。現在使用しているのはNPO法人だ。本来は社会教育施設なので貸す場合は、社会教育団体、社会福祉団体、公共団体、その他がある。この法人はその他に入ると思う。設置条例の目的どおり使われていないことが課題だ。

青木 俊悦 委員

多面的機能
Q 農地費が増額しているが、農業振興費や畜産業費は昨年度に比較して予算が減少している。多面的機能支払制度との関連か。
A 多面的機能支払制度の長寿命化はありがたい制度だ。町としても応援してほ

A 農地費が増額したのは、多面的機能支払制度実施によるものである。国は、この制度の導入を6割程度と見込んだが、町内でも実施団体が多くなってきた。それにより予算の見通しが立たなくなり、今は、当初予算の範囲ということになっている。このため長寿命化への対応はむずかしくなっていくと思われる。

千葉 正男 委員

保育対策
Q 保育対策費の委託料に、保育園運営委託料やファミリーサポートセンター事業委託料などの項目があり、今年度は3億7360万3000円と、昨年度より3083万8000円の増額となっている。その要因は。
A 保育園運営委託料の増額が主な要因だ。保育園に委託する場合の保育単価が高くなっている。27年度の補正分やたいよう保育園で27年度に定員が増加した分も考慮して、今回増額したものである。



みんなに見守られ スクスク育て

※ふるさと伝承館 昭和51年～53年に母屋、厩及び厠が千貫石地区などから現在地(西根南羽沢)に移築。昭和53年に「町内に存する文化財等を保存し、町民の伝統をまもり、文化的向上に資する」ことを目的として、ふるさと伝承館設置条例を制定。

目指すは70年連続? 1月30日、みどりの郷で金ヶ崎町体育協会創立60周年記念式典が150余名の出席のもと、盛大に開催されました。式典では町内一周駅伝競走大会に昭和31年から60年間連続出場した選手や、全国高等学校総合体育大会に出場した高校生などの表彰が行われました。それにしても60年連続とは恐れ入りました。元気の源はどこから?

【蘇民塔】やあ〜い 厳寒の1月31日、数えて28回目の「おらが村の永岡蘇民祭」が永岡地区で行われ多くの見物客でにぎわいました。数ある県内の蘇民祭の中でも最も過酷とされる前半の水かけ祭り。60人余りの下帯男衆、地域の、職場の名誉をかけてひたすら耐えるのみ。やがてクライマックスの蘇民袋争奪戦。今年も取り主は地元の青年に。北海道から毎回参加のA青年。はたして「蘇民塔」津軽海峡を渡る日は来るか。

第十次総合発展計画を可決

平成28年度から10年間を基本構想とし、今後5年間を計画期間とする第十次総合発展計画を審議しました。この計画は若者や女性、地域を強く意識した重点施策と生活環境や産業振興などの施策分野を確実に捉えた計画になっています。

Q 第十次の計画は人口減少対策が柱になっている。計画は生活環境、健康福祉、産業、教育文化の4分野が基本政策とされているが、これらの施策を同時並行的に取り進むことよって人口減少に歯止めがかかるかと考えているか。

A 人口減少対策は最重要課題として捉えている。人口減少についても当然町の場合、地域ごとに隔たりがあり、総合的に取り組む必要があると考えた。4つの分野は基本政策となるものであり、今後この基本

に沿って各施策が実施されることになる。

Q 老人クラブの加入率が低下している。要因として考えられるのは、補助金申請や総会資料の作成など繁雑な事務作業がある。地区センターや連合会で事務代行をする仕組みが考えられないか。

A 会長職や事務局のなり手がいないという話を聞いている。役員や事務処理のあり方など、関係する各機関と相談しながら進めたいと考えている。



町の未来のため 今できることは (役場より北方を望む)

反対

千葉正幸 議員

議案第9号 第十次金ヶ崎総合発展計画に關し議決を求めることについて、反対の立場で討論を行う。
総合発展計画は、町の最高計画規範として下部計画の範となり、町の行政根幹をなすものである。このような計画を議決する数日前に示されて、検討や提案することもなく議決せよとは町民の信託を受けて議場にいるものにとって耐えがたいものである。また、計画の内容においても民意が反映されておらず、人口増対策、企業誘致、農業、福祉、教育等各般に亘って抜けていること、不十分な事が多々ある。どんな町を創るのかいまいち伝わっていない。よって反対するものである。

賛成

佐藤千幸 議員

日本は今まさに人口減少社会に突入しつつある。金ヶ崎町においても緩急の差はあれ、例外ではない。今までのような右肩上がりの計画から、成熟社会を形づくるための計画に移行することは、世の必然である。
「町民自らが支えあう」という町づくりの意識を醸成していることは、行政としても議会としても大変重要なことだと認識している。
「人と地域が支えあつまち金ヶ崎」を形づくるための第一歩として、この第十次総合発展計画を速やかに力強くスタートすべきである。

討論

交通指導員の任期を短縮

3年 → 2年

交通指導員は町民の交通安全にかかわる様々な場面で活動しており、現在14人が従事しています。

Q 定員16人に対して現在14人が就任している。任期を3年から2年に短縮する改正だが、これで定員が満たされるのか。

A 交通指導員の平均年齢は現在63歳である。指導員には熟練が必要であり、任期満了時に更新しやすい様に短縮した。県内他市町村の動向はどうか。県内33市町村の大半は2年になっている。

消防団員の定員を減員

430人 → 400人

消防団の定員を現在の430人から400人に減員するものです。人口減少や住民の勤務形態の多様化により消防団に加入する人の減少が続いています。

Q 団員減少の理由として給与処遇も考えられる。現在はどうなっているか。

A 団員については年額報酬3万6千円、支援団員については1万円となっている。県平均よりは上まわっている。町の財政状況を踏まえて適正であると考えている。毎年10名ほどが退団している。今後新加入に向けて対策は考えているか。



消防操法大会で訓練の成果を發揮



交通指導員の初点検式

消防施設や合併浄化槽整備

7地区に3億3800万円

当町には7地区の辺地があり、総合計画の策定にあたり、辺地に係る総合整備計画も見直すことになりました。計画期間は、平成28年度から32年度までの5年間です。それぞれの地区に配備している消防車両や屯所の老朽化が著しく、また合併浄化槽の設置も進んでおらず、今般計画に盛り込むことになったものです。
Q 今回の計画に道路整備の事業がない。この地区の道路整備は十分進んだという判断か。

A 改良工事の計画は予定していませんが、国の交付金事業を活用して路面補修は実施したいと考えています。
Q 計画されている浄化槽整備について対象人口と計画基数は。

辺地に係る総合整備計画の見直し



再編が検討される1分団5部屯所(谷地地区)

聞いてみなくちゃわからない地域の工夫 2月6日、地域づくりフォーラムが中央生涯教育センターで開催されました。南町自治会の空家解体作業の報告。下平沢自治会のミニデイサービス事業。地域づくり支援事業を大いに活用して地域活性化につなげたいものです。

中学生議会 2月4日、18人の議員が、中学生目線で町政課題に取り組みました。議場の雰囲気緊張しながらも、堂々と質問を展開する姿に未来の町の姿が重なりました。竹には節があるように、中学生議員諸君の節になったと思います。節がなければ伸びません。

人事案件に同意



監査委員（議会選出）
やまじ しょうご
山路 正悟 議員（南方）

- 選挙管理委員・補充員 選出
委員（任期：平成32年3月18日まで）
富山 壽幸 さん（西部）
宮舘 敬 さん（西部）
大松 沢武文 さん（街）
桑島 榮 さん（北部）
補充員（任期：平成32年3月18日まで）
及川 俊孝 さん（南方）
小原 充 さん（永岡）
及川 憲子 さん（三ヶ尻）
渡邊 つる代 さん（街）

7事業を繰越明許

- ▶地方公共団体情報セキュリティ強化対策事業 2754万円
- ▶地方版まち・ひと・しごと創生事業 1500万円
- ▶選挙人名簿システム構築等事業 130万円
- ▶年金生活者等支援臨時福祉給付金給付事業 6752万円
- ▶担い手確保・経営強化支援事業 1710万円
- ▶畜産クラスター事業 1662万円
- ▶南花沢・前野線道路整備事業 2774万円

※ 減債基金2億円 積み増し 補正予算

診療所建設の償還財源に

Q 畜産クラスター事業が1200万円ほど減額され約1600万円が繰越明許費になっている。事業の進捗よくと財源の確保はどうなっているか。
A この事業はJAが主体で実施され、乳用牛哺育育成センターを建設する内容である。減額は規模を縮小するものであり、繰越は建設地盤強化のためのもので、年度を越えて事業実施するものである。
Q 減債基金に2億1200万円ほどを積み立てる補正だが、どのような考えで積み立てるのか、また取り崩しのルールはどのようなか。
A 平成28・29年度に診療所を新築する。事業費

※減債基金とは借入金償還の財源に当てられる積立金。目的外に取り崩すことはできない。
Q 診療所の耐用年数は40年以上だ。後年度の方々に負担をしないか。
A 中期財政見通しの中で適正に対応する。
には起債を充てる予定なので、その償還の財源に考えている。基金は起債償還以外には取り崩せない。
Q 診療所の耐用年数は40年以上だ。後年度の方々に負担をしないか。
A 中期財政見通しの中で適正に対応する。

討論 反対

梅田敏雄 議員

財政管理費の中で2億1283万3000円を減債基金に積み立てる補正予算に反対する。減債基金は診療所建設に関する起債償還の財源に当てるものだが、実際の償還は5〜6年後から始まると見込まれ、今から減債基金に積み立てることは財政の硬直化につながりかねない。柔軟な財政運営のためには、この補正は財政調整基金に積み立てるべきと考える。

※繰越明許費とは予算が成立し事業を執行する過程において、何らかの理由によって年度内に事業が終わらない見込みとなった場合、予算を翌年度に繰り越して執行することができるもの。議会の議決が必要。

賛否が分かれた議案等一覧

○：賛成 ×：反対 欠：欠席 議長は採決に加わりません

議案名	審議の結果	青木俊悦	千葉良作	阿部典子	高橋美輝夫	有住修	巴正市	阿部隆一	及川みどり	千葉正幸	山路正悟	梅田敏雄	千田和力	千葉正美	佐藤千幸	伊藤雅章
平成27年度一般会計補正予算	可決	○	○	○	○	欠	○	○	○	×	○	×	○	○	○	-
第十次総合発展計画	可決	○	○	○	○	欠	○	○	○	×	○	○	○	○	○	-
平成28年度一般会計予算	可決	○	×	○	○	○	○	×	○	×	○	○	○	○	○	-

通称 大規模農道 ようやく 県道に 昇格

永徳寺高梨橋から六原地区の北上市境上寒田清水まで延長約11.8kmの町道認定を廃止し、一般県道前沢北上線となるものです。また、それに伴ってこれまで県道であった水沢北上線が町に移管され、新たに野中・佐倉河線となるものです。



放射線量測定器

東電原発事故の損害賠償請求960万円 あっせん申立てへ

平成23年3月11日に発生した東京電力(株)原子力発電所事故に伴う損害賠償請求について、23・24年度分については和解しているが、今回申立てを実施するのは25・26年度分合わせて約960万円です。申立てについては県や他市町村と足並みを揃え、原子力損害賠償紛争解決センター（原発ADR）に対して2回目のあっせん申立てをするものです。

Q 請求額約960万円は何に使われた経費か。
A 測定経費と人件費によるものである。測定に關しては浄化槽の水質など幅広く取り組んでいる。また、人件費については、放射能対策に関わった職員の経費として請求するものである。
Q 測定機器の購入費用などは含まれていないのか。また人件費については役場職員によるものか外部の専門業者に依頼したものか。
A 機器の購入費用については一回目の請求に含んでおり、今回は実際の測定に係る費用のみである。放射能対策には役場職員が携っており、時間内、時



A 機器の購入費用については一回目の請求に含んでおり、今回は実際の測定に係る費用のみである。放射能対策には役場職員が携っており、時間内、時
間外を問わず算定し、およそ890万円ほどである。

おらほの議員さん 2月21日、町議会議員選挙の投開票が行われました。投票率は70.4%と前回より1.66ポイント下がりました。今回の投票率は西高東低（町を東西に分けた山手の地域が投票率アップ）という特徴的な現象となりました。地元から議員を、との意識はまだ強いようです。

農の事始め…農はだて 2月10日、金ヶ崎農業をリードする町認定農業者研鑽会の設立20周年講演会・祝賀会が、ホテルみどりの郷で開催されました。長野県で大規模な野菜生産をする講師の話に皆異口同音に「金ヶ崎でもやればできる」改めて儲かる農業へのチャレンジを再確認しました。「研鑽」とは「着実に研究すること」とあります。この日は会の皆さんの「農はだて」の日となりました。

子どもの医療費助成を高卒まで拡充せよ

町長 — 今年の8月から実施する

問 子どもの医療費助成を高卒まで拡充することについて、昨年9月議会で町長は「子育ての重要な支援テーマの一つとして今後検討」と答弁した。子育て世帯を励ますためにも早急に実施を。

町長 6月定例議会に条例を提案し、8月から実施する予定。非課税世帯は全額無料になる。課税世帯は一医療機関当たり通院月1500円、入院月5000円を超えた分を助成する。

問 今年もインフルエンザが大流行、六原と永岡幼稚園閉鎖、第一小の4年生と5年生の学年閉鎖、永岡小の2年生学年閉鎖、金小の5年生学年閉鎖等が行われた。就学前乳幼児への予防接種補助制度を2014年10月から実施したことは評価される。小学生も補助対象にすべきである。



全員マスク着用の卒業式 数日前学校閉鎖で危ぶまれた金ヶ崎小学校

町長 予防接種で完全防止はできない。日本小児科学会が乳幼児への予防接種は、合併症のリスクを鑑み、有効率を説明した上で任意接種が適切との見解を示した。小学生まで拡大することは、今後検討していく。

町長 4月時点で待機児童ゼロでも、年度途中に出る可能性がある。余裕ある配置は公だからこそできる。町立幼稚園の1園を認定子ども園にし、年度途中でも0歳から受け入れるべきである。

問 新設する子育て支援課と連携を図りながら今後の少子化の状況や保護者ニーズを把握し、これからの幼稚園の在り方を考える中で検討していく。

問 園児バス有料化は教育委員会の規則で月500円徴収するという。多く見積もっても総額年60万円程度であり、子育て支援という観点からも撤回すべきである。

警長 利用者は園児の一部であり、受益者負担という言葉原則から徴収することにした。

問 高齢者から、「通院に時間がかかり交通費も

町長 私町議選前に実施したアンケートでは62%の町民が復活すべきと回答している。新町誕生60周年記念講演講師による「入院ベッド復活を」との発言に会場から拍手が起こるなど、入院施設が欲しいという町民の強い願いがある。町民の要望は認識している。しかし、県の地域医療構想によると、胆江医療圏では現在300床ほど多く、診療所のベッド復活は困難。在宅医療への転換が重要になっており、地域包括ケアシステムを構築し医療機関の連携による訪問診療などの充実にも努める。

問 町民の要望は認識している。しかし、県の地域医療構想によると、胆江医療圏では現在300床ほど多く、診療所のベッド復活は困難。在宅医療への転換が重要になっており、地域包括ケアシステムを構築し医療機関の連携による訪問診療などの充実にも努める。

町長 当初予算に計上、早期に取り組んでいく。

問 昨年12月議会で、町長は「来年度増築を予定している。予算・設計等が確定次第、国・県に補助申請する」と答弁した。どのような状況になっているか。

町長 当初予算に計上、早期に取り組んでいく。

改選後初の定例会

5議員が町政をたただす

一般質問は、議員にとって、住民から重大な関心と期待を持たれる大事な議員活動です。町政全般にわたって執行機関に疑問点を質し、所信の表明を求め、議員自らの政策提言を行い政治姿勢を明らかにするものです。

質問する議員は、執行当局に事前通告します。本会議場での持ち時間は1人1時間。質疑の様子は、質問した議員が自ら原稿をおこし、それを掲載しています。(1人1ページ)

なお、今議会の登壇議員は5人でした。

ページ	質問者(登壇順)	質問項目
17	阿部 隆一	①高卒まで医療費助成拡充など子育て支援充実を ②入院ベッド復活など診療所の充実を ③学童保育所の整備を
18	千葉 正幸	①第十次金ヶ崎町総合発展計画の3月定例議会での議決を6月定例議会まで延ばしてほしいと考えるがどうか
19	梅田 敏雄	①第十次総合発展計画について ②定住自立圏協定について
20	及川 みどり	①小中学生のスポーツと学習について ②生活環境の整備について
21	千葉 良作	①子ども育成条例試行について ②国体について ③高齢化社会に対して

議会傍聴にお出でいただきありがとうございました

◎ 3/10~24 傍聴された方 45名 (男性 28名、女性 17名)

〈みな様の声……アンケートより〉

- ・新議員の質問により、議会の新鮮さを感じた。
- ・町民へのコミュニケーションを大切にしてほしい。
- ・一般質問は時間制限があると思うが、もう少し端的にほしい。
- ・静かなやりとりと感じた。
- ・議会日程を早めに知らせてほしい。……etc

子育て支援



あべりゅういち 阿部隆一 議員

町議2期目スタート。無謀にも議長選に立候補したら3票入った。「誰と誰が共産党に投票したのか」と少し話題になっているとのこと。公約実現めざし頑張ります。

議員のつぶやき…

臨時議会 3月3日、この度の一般選挙後の初議会が開かれました。年長議員である千葉正幸議員が臨時議長を務めました。臨時議長 日程。第二、議長の選挙を行います。選挙は投票で行います。議場の出入口を閉めます。ただいまの出席議員数は16人です。次に立会人を指名します。(略) 投票用紙を配ります。(略) 投票用紙の配付漏れはありませんか。投票箱を点検します。……粛々と進められました。

New Face 4人組 3月1日、新人議員研修で、沢山の資料を前にみな目が点になっていました。その後、息つく暇もなく定例会に突入…緊張と不安の10日間を無事に乗り切ることができたのは、いつもエネルギーチャージしているから?今後も一歩一歩前進していきます。みなさん応援して下さいね。

行政区の再編が必要だ

町長 — 歴史があり、そう簡単にはいかない

第十次総合計画の見直しを

町長 — 4月から取り組みたい 必要に応じて見直しを行う

問 議員になって間もない者にも大剛を示されて議決を迫られる事は酷な事だ。6月定例会まで延ばして欲しい。また、計画の甘さがあり且つ抜けている重要課題がある。民意を十分に反映したとは言えない。簡条的に指摘する。

- ① 計画に当って組織体制・プロセスが見えず、計画に活用した統計書がない。
- ② 10年先を見越した5ヶ年計画なのに、問題点や課題のところが不十分である。
- ③ 高橋町政の核であった協働のまちづくりの反省評価がない。また約束していた条例化はなかったのか。新たに「連携」の考えが加

わった具体策が見えない。

- ④ 入るを図る政策が不十分で、人口増対策や企業誘致策が生ぬるい。
- ⑤ まちづくりの基本である土地利用と、規制緩和策がない。
- ⑥ 金ヶ崎診療所に何故ベッドを置かないのか。地方創生のエンジン日本版CCRCも検討すべきだ。また平成30年度より予定されている国保の岩手県一本化する広域連合対策は。
- ⑦ 政府が平成26年6月24日閣議決定した規制改革実施計画によれば農産部門で、農業委員会農地を所有できる法人、農業協同組合の改革を平成31年度までに進める方向だが町の農業改革は

これで良いのか。

- ⑧ ある調査によれば、65歳以上の一人暮らしは400人前後、夫婦暮らしは500世帯前後、この人達の総合対策がない。福祉コンビニやバーンモーゲージ等を検討したらどうか。
- ⑨ ふるさと伝承館に触れていないが、現状では町の条例違反で「瑕疵ある行政行為」だ。
- ⑩ 本来的な生涯学習はどのようなのか。生涯教育で重要な施設である図書館の充実とアーカイブ機能を。
- ⑪ 協働の名のもとに自治会との繋がりを強化しているが、自治会の主体性を尊重し、区長兼務をやめ自主

的な活動を促すべきだ。⑫ 職員の基礎的な研修が不十分であり、のびのびと働ける環境づくりが大切だ。

⑬ 岩手県立農業高等学校を中心とした学園都市構想を計画に載せて推進する事。

町長 第十次金ヶ崎町総合開発計画は、3月定例会で決定頂き4月の新年度から取り組みたいと考えているので、6月定例会まで延ばすことはできない。計画は必要に応じて見直しを行う方針であり、新しい議員さん方にもご理解を頂きたい、また、計画に当っては、組織体制を整え多くの町民、団体、事業者等の意見を聞き、役場職員の総力を挙げて策定したものである。

の第十次計画でも重要な事だ。条例制定は、町民憲章等まちづくりの規範となるものがある、それを生かしながら進めていく。自治会長と区長兼務については検証しながら地域協働を充実させていく。

○生涯教育は、近年取り巻く環境や、条件が変わってきている。ふるさと伝承館は形を変えてそれなりの活用を図っている。アーカイブは図書館ではなく別のところで考えたいと思う。

○農業大学校を中心とした学園都市構想の推進については、相手もあり簡単な事ではないが、新しい課題として取り組みたいと考えている。

問 総合発展計画は町の最上位の計画である。各分野の個別計画は総合計画の趣旨に沿って図られる。策定に当たっては、町民の生活実態を制度高く把握することが大切だ。多くの町民の参加を得て計画されるべきだが、第十次の計画はどのように策定されたか。

町長 この計画策定は人口減少対策の中心であるまちづくりと地方創生戦略と一体的に進めてきた。内部組織である未来創生推進本部を立ち上げ、多くの職員が計画作りに携わってきた。その中で今後5年間の継続性や実効性が高まると考えられる。

問 基本構想は第九次計画を踏襲し「人と地域を支えあうまち 金ヶ崎」としたが、地域の考え方に自治会が含まれるか。

町長 自治会は行政区単位で構成されている。行政区の実態は様々だ。会員の多いところ少ないところ、高齢化が進んでいるところ、若い世代が多いうところなど一様ではない。町の施策の実効性を高めるためには行政区の再編が必要なのではないか。

町長 行政区の課題は人口減少や高齢化、学区の在り方等従来から意識してきた。ただ地域社会を形成してきた歴史があるので、すぐに再編というわけにはいかない。検討課題であることは疑いない。

行政区再編



うめだ としお 梅田敏雄 議員

定住自立圏協定の取り組み

問 金ヶ崎町における公共交通の在り方を検討する考えが示された。民間が



田園バス 町民の利用ニーズに応える運行を

運行していない路線ではあるが、ニーズのある路線は定住自立圏協定の中で取り組んでほしい。具体的には江刺区中心部と金ヶ崎駅を結ぶ路線だ。岩谷堂高校に

町長 行政が行う公共バスの相互乗り入れは多様な公共交通の手段を提供する観点から有意義だ。特に高齢者や交通弱者と言われる方々にとって路線の拡充は求められる施策だと考えている。奥州市、北上市との間の共生ビジョン策定において検討することとしている。

感動の涙について 3月12日、うららかな春の日差しの中、金ヶ崎中学校の卒業式が行われました。厳粛な雰囲気の中、156名の卒業生へ証書授与。あるクラスの生徒一人一人が担任に向かい「ありがとうございました」と感謝を込めてお辞儀。新鮮さを感じました。金中生の思いが一つになった呼びかけや歌で、涙が溢れる卒業生の姿に来賓席では目頭を押さえる人も。それにしても長〜卒業式でした。



ちば まさゆき 千葉正幸 議員

※CCRCとは continuing care retirement communityの略である。老後また健康な間に入居し、人生の最期までを過ごす高齢者のための生活共同体の事。そこでは老後の進行に伴って必要となるヘルスケアサービスを受け続けることができる。地方創生戦略の一つとして政府が打ち出した目玉である。

世の中は正論が通るとは限らないが、少数意見にも耳を傾けて欲しいね。民主主義の学校と言われる議会にとってはなおさらの事だ。特に権力をもち町長や議員はなおさらの事だ。裸の王様とかレームダックと言われぬように心がけないとね!!

議員のつぶやき...

地域に広がれ子どもの声

教育長 — 子ども育成条例推進

子ども育成条例



ちばりょうさく 千葉良作 議員

問 第一小学校の六年生に「子ども育成条例」が試行された。子ども達は、自分の生活を振り返って、今年度の目標をアドバイザーの励ましや学校からの指導のもと一生懸命取り組んできた。教育委員長より「チャレンジ賞」を贈呈され、子ども達は誇らしげであった。今回のこの取り組みの経過は。

答 アドバイザーは子どもの目標によって依頼するが、今回家庭や少年団の内容が多かったためにお願いはしなかった。子どもの反応や反省をみると「100%来年につながる」と肯定的な回答であった。



学校・家庭・地域で見守り育てる我が町の子どもたち

問 第一小学校の例では下級生にも波及しているようだ。地域にも自治会にも広げていくことを考えていきたい。

答 第一小学校の例では下級生にも波及している。地域にも自治会にも広げていくことを考えていきたい。

問 高齡化社会に向かつて地域の活力が失われていくようだ。中でも高齡者の組織離れが進んでおり、個々バラバラになっている。ようだが。

答 老人クラブを例にしてみると組織数が減少してきているのが事実だ。老人クラブの方々と相談しながら孤立した老人ができないようにしていきたい。そのため、みんなで情報を共有しながら進めていくことが大事であると考えている。

活発な部活動 学習への影響は

教育長 — 家庭学習の時間が少ない

問 金ヶ崎町の小中学生はスポーツ面において、優秀な成績を収めており、大変素晴らしいことだ。中学校では部活のあとスポーツ少年団の活動へ移行し、夜遅くまでやっている部や朝練をしている部などあるようだが、学習面への影響はないのか。

答 小中学生が好成績の活躍をしていることは喜ばしいことである。そのためには多くの練習が必要で夜遅くまで活動している。中学校で、3年生の家庭学習の時間についてアンケートを行ったところ、平日1時間未満が、昨年は32.6%、今年は46.2%と2人に1人の割合となっている。



クラブ活動に励む金中生 やっぱり照明があるといいね

問 中学校の野球部員の親から、金中のグラウンドに照明がほしいという要望が来ている。

答 望があるが、設置は可能か。学校施設の照明は、大に設けたものである。金ヶ崎町では、森山と町民グラウンドに照明を設置し一般開放しており、中学校に設置する考えはない。

問 小学生は、ゲーム機での遊びが多く、体を動かすことが少なくなっていると思う。子ども達の運動離れへの対応は。

答 小学生は、運動に積極的な子と運動を好まない子の二極化が進んでいる。県教育委員会では1日60分は運動をしようと「希望郷いわて元気体力アップ60運動」を提起しており、町でも推進していきたい。

部活と学習



おいかわ 及川みどり 議員

住環境の整備

問 金ヶ崎町は「今もこれからは住みたい町、住んで良かったといえる町」の実現をまちづくりに掲げている。人口減少への対策として、さまざま考えられるが、住環境の整備も大切だと思ふ。水路の欠陥、町道のデコボコなど。金ヶ崎町に住んでくださいと言えない面が多く見受けられる。住環境の整備に力を入れていくべきだ。

答 道路の小規模の改善や穴埋めは連絡があれば対応している。工事を休止している6路線については交通量、緊急度、費用対効果などを検討。優先度を決め、順次工事を進めたい。水路の保全是、町民の協力

家で勉強したこと…記憶にございません。家に帰るとお手伝い。9時就寝。古き良き時代でした。

議員のつぶやき…

一般質問の際に傍聴席がほぼ満席に近い状態で大変責任を感じた。議会と町民を結ぶパイプの役目を少し果たしたのかな。

議員のつぶやき…

18人の議員

議場で教育長と対決!

中学生の目線で町政課題に斬り込む

第6回中学生議会が2月4日開かれました。議長には内海らいらさん(2年生)、副議長には最上わかかなさん(2年生)が選任されました。生徒会役員18人が議員となり、6グループを編成し、町政課題について質問しました。町長及び教育長が真摯に答弁しました。



自立のまちを支える若い力に期待



ホッと笑顔の記念撮影 やがて未来の議員が……

講評



貴重な経験を生かし大きく成長を

教育委員長 千葉 祐悦

議場は独特の雰囲気があり、大人でさえ緊張する場があります。

皆さんが日常生活の中で疑問に思っていることや関心を持っていることについて、真剣で凛とした態度で質問していました。

時間をかけて調査し、考えや意見をまとめてきた成果だと思います。

金ケ崎町がさらに継続して発展していくためには、皆さんのような若い力が必要です。

この貴重な経験をこれからの生活や学習に生かし、大きく育つことを期待します。

●スクールバスについて



高橋静香議員 (2年・生徒会副会長)

Q スクールバスは朝夕1本ずつのため、部活の朝練習や帰りの部活動、委員会などバスの時間に間に合わないことがある。増便できないか。

A 早朝から2便運行は運行関係者への負担が大きい。中学生は部活動や委員会を配慮し2便運行している。



丸山明日香議員 (2年・校外委員長)

Q 登下校以外に町の行事などで、スクールバスを出すことはできないか。

A 登下校の運行に支障がない範囲内で校外活動のために運行している。町の行事の際は先生方とも協議しながら運行について前向きに検討する。



吉田陽輝議員 (2年・応援団長)

Q 練習試合や大会でも使えるようにできないか。

A 運転業務は民間業者に委託している。土日は原則として中体連や中文連の公的な行事に運行している。部活動や練習試合の運行は委託料の増加につながるの難しい。

●公共施設と空き家について



内海らいら議員 (2年・生徒会会計)

Q 街地区体育館など古い公共施設の改修工事などの予定はあるか。それを町民に知らせる手段は何か。

A 多額の費用がかかるため優先順位を付けて実施計画を立てる。決定したら、広報や地区センターなどを通じてお知らせし、工事を行う。



上松由依議員 (2年・部活動運営委員長)

Q 体を動かして遊ぶ楽しさを子ども達に知ってもらえたらいい。遊びたくなるような公園をつくることはできないか。

A 子育て世代の意見を参考にし、快適に利用ができ、拠点となるような公園の整備を検討していく。



高橋樹議員 (2年・生徒会長)

Q 町内に多くある空き家、空き店舗、空き地を活用する取り組みを行っているか。

A 町では空き店舗を改修して新たな商売を始める方を支援している。空き地は商店を利用するための駐車場を検討している。

●道路整備について



小田中鈴奈議員 (2年・図書委員長)

Q 田園パーク付近通学路の街灯が少ないと感じている。昨年の質問後、どのように検討されているか。

A 防犯協会で検討し、9カ所に設置した。危険と思われる場所があれば、担任の先生を通じて生活環境課に要望していただきたい。



若松干波議員 (2年・保健体育委員長)

Q 三ヶ尻センター付近は暗くて危険。街灯を付けてほしい。

A 防犯協会で、設置場所と優先順位を決定している。三ヶ尻センター、幼稚園、小学校周辺には10数基設置されている。町内の設置状況から見れば、少なくない。



及川野々花議員 (2年・学習委員長)

Q サバービア周辺の道は見晴らしが悪く危険。カーブミラーの数を増やしたり、向きを直した方がいい。

A カーブミラーの他にも看板やのぼり旗等で注意を呼び掛けている。カーブミラーの増設は予定していない。向きについては確認し、修繕を完了した。

●道路除雪について



河野仁莉果議員 (1年・生徒会会計)

Q 金ケ崎小学校のグラウンドと図書館の間の道路は、除雪された雪が歩道にたまり危険だ。しっかり除雪を。

A 質問の箇所については、パトロールを強化して確認する。危険と感じるような場合は、学校を通じて建設課へ連絡してください。



阿部唯乃議員 (2年・生活委員長)

Q 学校の周りの道路はとても狭い。雪で更に狭くなり危険です。安全に登下校するために道路の幅を広げてほしい。

A 限られた予算内で、重要度等で優先順位を決め、順次整備する。車両の通行を規制することも検討したい。



鈴木陽斗議員 (1年・生徒会書記)

Q 金ケ崎診療所に行くための道路を広くするとともに、ロードヒーターをつけた方がいい。

A 診療所の建設に多額の予算が必要となることから、周辺の道路整備やロードヒーターの設置は難しい。

●英語のまちづくりについて



最上わかかな議員 (2年・合唱委員長)

Q 児童生徒が授業で身につけた英語でボランティアを行うと、英語力が上がることも観光客が増えるのではないか。

A 観光客からの質問に答えられるよう、金ケ崎町のことをよく学び英語力を身につけていただきたい。



阿部りか議員 (1年・生徒会書記)

Q 子どもだけでなく、大人も英語にふれる機会があった方がいい。

A 朝の挨拶や簡単な会話は英語で行うなど、日常生活の中で英会話が飛び交う家庭を増やしていくことが英語のまちとして発展していくことにつながる。



廣野友萌議員 (2年・広報委員長)

Q 金ケ崎町の英語活動を県全体や全国にPRすることで、地域の発展につながるのではないかと。

A 英語を含めた学校の勉強をしっかり身につけて、自らが金ケ崎町をPRすることができるような生徒になっていただきたい。

●スポーツ施設について



高橋凜議員 (2年・部活動運営委員長)

Q 中学校のグラウンドにナイター設備を設置できないか。

A 学校における勉強や部活は、朝8時から夕方5時ごろまでの日中に行うことが大原則。学校教育のために夜間照明を設置することは難しい。



藤澤悠議員 (2年・厚生委員長)

Q 森山スポーツセンターや町民グラウンドのナイター設備を部活動で利用できないか。

A 町のスポーツ拠点として、皆さんに大いに利用していただきたい。中学生も積極的に利用していただき、各種大会での活躍を願っている。



及川大夢議員 (2年・生徒会副会長)

Q サッカーの練習をするスペースが限られている。公園にサッカーゴールを設置できないか。

A 公園内の球技は、他人に迷惑をかける行為として禁止している。町民グラウンドと南方センターにサッカーゴールが設置されているので利用を。

傍聴者の声

議員が提案したことに対し、予算の関係でほとんど実現が難しいという答弁でした。中学生が叶えたいことには、多く課題があることを学びました。中学生が政治にふれるよい機会でした。

こういう機会だから言えたことがたくさんあったと思う。それを大人になったら実現できたらいいと思った。(中学生)

議員に対する手厚い指導、ありがとうございました。生徒の質問はどれも実現が難しいものだと思いますが、在学中に一つでも実現すると政治に対して夢や希望を持てると思います。(教師)

身近な問題を分かりやすく質問していた。答弁も分かりやすく、自分も勉強になった。(一般)

勉強や部活の合間に、自分の住む町について学び準備したことは大変だったと思います。町も、誠意を持って応えることに期待します。(一般)

今年もやりました 3月18日、議会広報入賞祝賀会を永岡温泉で行いました。第30回全国コンクール優秀賞(第2位)岩手県コンクール入選を受賞。全国11年連続入賞となりました。・ありのままに・わかりやすく・議員の力で・スピード発行をモットーに、これからも力を合わせてがんばります。

マスクで臨んだ卒業式 3月18日、金ケ崎小学校の卒業式がインフルエンザ流行のため、全員マスク着用の異様な雰囲気の中で行われました。しかし、子ども達は臆することなく6年間の思い出、感謝を別れの言葉や歌に託していました。感動…泣 中学生になっても今の気持ちを忘れないでね。

ゲートボールは 人の和づくり、健康づくり



こみりぞ
古味利三さん

(西根上大沢)

家の前のハウスの中にミニゲートボールの練習場を持つ古味さんは、ゲートボール歴20年。和光チーム7人のまとめ役として強力チームの和を保っています。

この競技の良さは人の和をつくること。これで多くの人に助けられたと熱く語ります。

古味さんは、和光地区老人クラブの会長を10年近く務めています。

中学校2年生のときに家族で現在地に入植し、開拓の仕事や出稼ぎ、牛の飼育など苦勞を重ねてきました。その苦勞が古味さんを育ててくれました。

柔和な目、穏やかな語り口、一本筋の通った話の中味、年齢を感じさせない若々しく軽快な行動力。

ゲートボールを語る時の一段と熱のこもった話し方。

80歳を過ぎてでもできる健康づくりのスポーツだと、自身の経験をふまえて語る顔は青春真最中。



手づくりの自慢のコートで今日も練習

カムハツク双子ちゃん 表紙の写真によせて

夢に向かってチャレンジ

議会だより86号(平成20年4月発行)で表紙を飾った佐藤夢香さん、愛子さん姉妹。この春金ヶ崎中学校に入学しました。

夢香さんは、小学校6年間皆勤賞、愛子さんは5年間皆勤と、大きな病気やケガもなく成長しました。もうすぐお母さんの背丈を追い越すそうです。

運動は苦手。でも、卓球スポーツ少年団で4年間がんばりました。

暇さえあれば絵を描いている2人に、お母さんから

「大いなる夢に向かって、焦らず、恐れず、いろいろな事にチャレンジできる勇氣ある人に。他人を思いやれる優しい人に。なれたらいいね!」



ゆめか あいこ
中学校生活が楽しみな夢香さんと愛子さん

編集日記

▼ 議員3期目がスタート。3月定例会を終え、広報常任委員会として、新たな顔ぶれで編集作業を行いました。3月も終わろうとしており、外では春の農作業の準備が始まっています。委員一同仲よく、楽しく広報編集にがんばり、みなさまにお届けします。
(及川みどり)

▼ 編集子が広報担当になったのは10年振りのこと。その間議会だよりの編集は大きく進化しました。
全国コンクールでは11年連続入賞し、25年度には全国最優秀賞を受けました。

先輩編集委員の輝かしい実績を汚すことなく、今後の紙面づくりに取り組めます。
(梅田 敏雄)

議会広報常任委員会

私たちが編集しました

- | | |
|------|--------------|
| 議長 | 伊藤 雅章(発行責任者) |
| 委員 長 | 及川みどり |
| 副委員長 | 梅田 敏雄 |
| 委員 | 佐藤 千幸 |
| 委員 | 千葉 和美 |
| 委員 | 山路 正悟 |
| 委員 | 阿部 典子 |
| 委員 | 千葉 良作 |

次号のお知らせ

次号(第119号)は平成28年7月発行予定です。6月議会定例会の内容を中心にお伝えいたします。

